

名古屋大学大学院情報学研究科・准教授 公募要領

1	募 集 件 名	准教授の公募	
2	募集者の名称	国立大学法人東海国立大学機構	
3	所 属	大学院情報学研究科知能システム学専攻フィールド知能情報学講座	
4	募 集 内 容	[職務内容（業務内容、担当科目等）] （雇入れ直後） <業務内容> - 情報学研究科および情報学部において、人工知能分野を中心とする知能情報学の教育研究を推進する。 - 情報学研究科および知能システム学専攻の運営に積極的に取り組む。 - 情報学研究科知能システム学専攻の講義および大学院学生の指導、情報学部コンピュータ科学科の講義および学生の指導、全学教育における講義を担当する。 <担当授業科目> 1) 大学院 - 博士前期課程：特論、セミナー、演習、修士論文指導 等 - 博士後期課程：セミナー、博士論文指導 等 2) 学 部 専門分野に関連する専門系科目、全学教育科目、卒業研究指導、演習、実験 等 （変更の範囲） - 東海国立大学機構が指定する業務 [勤務地] （雇入れ直後）愛知県名古屋市千種区 （変更の範囲）東海国立大学機構が指定する就業場所 [募集人員] 准教授・1名 [着任時期] 2027年4月1日	
5	募 集 研 究 分 野	大分類	情報通信
		小分類	知能情報学、知能ロボティクス、ヒューマンインタフェース・インタラクション
6	勤 務 形 態	常勤 契約期間：期間の定めなし 試用期間：あり（採用日から6か月）	
7	応 募 資 格	[必要な特定分野の資格・条件（学位などを含む）・専門性等の詳細] - 博士の学位を有する方 - 日本語による業務遂行が可能なコミュニケーション能力を有する方	

		- 学部・大学院における教育に熱意と責任感を持ち、協調性をもってあたることができる方 - 大学運営に関わる業務遂行に積極的に関与できる方 - 知能情報学分野（特に仮想現実（VR, Virtual Reality）や拡張現実（AR, Augmented Reality）、ロボティクス、マルチモーダル処理、ヒューマン・コンピュータ・インタラクションに関する技術）に精通しており、当該分野を国際的に牽引できる方
8	待 遇	[採用後の待遇（給与、勤務時間、休日、保険等）] - 東海国立大学機構職員就業規則の定めるところによる。 https://public1.legalcrud.com/thers_ac/act/110010928.html - 給与は東海国立大学機構名古屋大学年俸制適用教員給与規程において定める年俸制とする。 https://public1.legalcrud.com/thers_ac/act/110001585.html - 専門業務型裁量労働制により、1日7時間45分働いたものとみなされる。 - 休日：土・日曜日、国民の祝日、年末年始（12月29日～1月3日） - 加入保険：文部科学省共済組合、厚生年金、労働者災害補償保険、雇用保険 - 受動喫煙防止措置：原則としてキャンパス内は喫煙禁止
9	応 募 期 間	2026年7月1日～2026年9月30日
10	応 募 ・ 選 考 結 果 通 知 連 絡 先	[応募方法（提出書類の送付先）] 以下の書類一式（推薦状を除く）を一つのPDFファイルとしてまとめて、後述の応募フォーム内に記されているアップロードリンクから送付してください。推薦状の提出は、下記の指示通りにしてください。 - 履歴書（写真付き） - 研究業績の一覧（著書、学術論文誌、国際会議、査読有無などを区分して記述） 主著者（筆頭著者）ではないが、責任著者（corresponding author）となっているものに○印を、国際共著論文（海外大学・機関との共著論文）に＊印を付してください。 - 主要論文別刷（主要なもの5編以内、コピーも可） - これまでの研究概要（A4用紙2ページ以内） - 今後の研究計画（A4用紙1ページ） - これまでの教育・人材育成実績（指導歴や人数などを含む。）（A4用紙2ページ以内） - 教育についての抱負（A4用紙1ページ） - 獲得した外部資金（名称、研究課題名、期間、研究費総額、代表者・分担者の別などを示すこと。）の一覧 海外大学・機関との共同研究（研究交流事業を含む）の研究費に◎印を、また海外機関（海外の学術研究支援機関、国際機関等）から研究費を獲得

		している場合は※印を付してください。 (9) その他選考に役立つ情報（学会および社会貢献、受賞、特許、マネジメント実績、プロジェクト推進・貢献実績、プログラミングコンテスト・ソフトウェア開発実績など） (10) 応募者に関するGoogle Scholar Citationsの写し（トップページのみ） (11) 応募者の業績について問い合わせることのできる方2名の氏名および連絡先、ならびに推薦状。推薦状（書式任意）は、応募フォームに記載されているとおりに、推薦者から直接、下記問い合わせ先アドレスにe-mailで送るようお願いください。 (12) 類型該当性の自己申告書（「11 その他」参照） 応募期間内（必着）に以下のリンク先の応募フォームから応募をお願いします。提出書類のアップロード方法は、応募フォーム内に記載しています。 https://forms.cloud.microsoft/r/sikQAd9P8X  （右の QR コードからもアクセス可） - 問い合わせ先： 〒464-8601 名古屋市千種区不老町 - 名古屋大学 大学院情報学研究科附属価値創造教育研究センター - 教授 是津耕司 - TEL: 052-789-4713 e-mail: zettsu AT i.nagoya-u.ac.jp （ATを@に代えてください）
11	そ の 他	〔選考内容（選考方法、採否の決定）〕 - 書類選考の上、面接を実施します。 - 応募者には電子メールで連絡を行います。 - 名古屋大学は業績（研究業績、教育業績、社会的貢献、人物を含む。）の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。 - 提出された書類については、本選考以外の目的には使用しません。 - 応募書類は、本選考委員会が責任を持って処分し、返却しません。 - 面接に要する交通費は支給しません。 2021 年 11 月「外国為替及び外国貿易法」（外為法）に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、大学・研究機関における教職員への機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となりました。 これに伴い、本公募に応募の際、「類型該当判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告書」の提出が必要となります。また、採用時には「誓約書」の提出が必要となります。様式は以下の URL から取得してください。 https://www.i.nagoya-u.ac.jp/resume/ - 本学では、多様性の推進やワークライフバランスの促進に、積極的に取り組ん

		でいます。詳細については以下の URL をご覧ください。 ジェンダー・ダイバーシティセンター Web サイト： https://www.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/ ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン&ビロッキング (Diversity, Equity, Inclusion & Belonging: DEIB) 推進宣言： https://www.thers.ac.jp/about/declaration/deib/index.html • 出産・育児・介護・病気等の理由により、過去に研究活動を中断・遅延した期間があれば、その点を履歴書に記載することができます。本学ではそれを記載したことにより、不当な評価を受けることはありません。
--	--	--